

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|-----------------------|
| 事業名 | 地区の防災安心応援事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 生坂村 |
| 事業区分 | (4) 安全・安心な地域づくりに関する事業 |
| 事業タイプ | ソフト / ハード / ソフト・ハード |
| 総事業費 | 1, 443, 840円 |

事業内容

【上:防災講演会の様子】
【下:避難訓練の様子】

住民主導型の警戒避難体制づくりを残る5区で推進し、全村による土砂災害による犠牲者ゼロのむらづくりや、住民主導型の防災意識の向上を図ることを目的に事業を実施した。

- 1 防災講演会及び住民懇談会等の開催
住民の防災意識を高めるため、群馬大学準教授による防災講演会を行った。また村内全10区に出向き防災マニュアルや避難マップ等の懇談や災害備蓄品の啓発を行った。
- 2 防災マニュアルの作成、避難マップ印刷
防災に関するマニュアルとして懇談会でのルールや防災資料をまとめた家庭用マニュアルと、避難施設集会所へ掲示する大型のマップを作成した。
- 3 豪雨災害を想定した避難訓練の実施
懇談会で策定した自主避難計画に基づいた避難訓練を村内全域(10区)にて実施した。



事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 住民懇談会により作成した住民主導型の避難体制やルール、基準について定着を進めることができた。
- 1 地区懇談会での話し合いにより、避難ルールの確認や防災に関する啓発を行うことができた。
 - 2 家庭用防災マニュアルの作成やマップの印刷、災害用備蓄品の購入等により、防災への関心が高められ、啓発ができた。
 - 3 11月15日(日)、全村で2回目の避難訓練を行い、その後、防災講演会を行った。防災について考えるいい機会とすることができた。

【目標・ねらい】

- ① 住民の防災意識の向上
- ② 警戒・自主避難基準の定着化
- ③ 自主防災組織の体制づくり
- ④ 村内全区での避難訓練実施

※自己評価【A】

【理由】

住民自らが作った基準やルールについて、定着させるため懇談会による話し合いの機会や、避難訓練、講演会などの実施により防災意識の高揚と定着に向けた取り組みとすることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

住民の主体により警戒・避難基準や避難経路、危険箇所などを話し合い、全村で自主避難計画を策定したこの仕組みをより定着させるため、継続した避難訓練や防災について考える機会の創出を図り、地域に根付く防災体制構築のため住民と共に考え協働により進める。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある